

1. 研究の対象

2001年4月1日～2027年3月31日（西暦）に大阪市立総合医療センターにて大腸悪性疾患にて外科治療および化学療法を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

食道癌、胃癌をはじめ上部消化管悪性疾患は本邦でも罹患数は多く、最近の手術器具の開発、手術手技の定型化、化学療法の進歩によりその治療成績は大きく向上しています。これら治療の進歩と治療成績との関係を検討し、その安全性、有用性について検証することにより最適な治療方法の確立が期待できます。

方法は診療録より年齢、性別、身長、体重、罹病期間、病態、併存疾患、血液検査データ、手術方法、手術時期、手術時間、出血量などの臨床的因子と術後の合併症発生頻度、在院日数、術後 Quality of life (QOL)、術後栄養状態、再発率、奏効率、予後、有害事象等について比較検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療前後の病態および血液検査結果、画像検査結果、手術方法、化学療法など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

消化器外科 久保 尚士

住所：534-0021 大阪市都島区本通2丁目13番22号

電話：06-6929-1221

研究責任者：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

消化器外科 久保 尚士